

地域再生計画の事後評価

1. 地域再生計画の概要

計画名称	果樹と道が育む地域活力アップ計画
事業主体	和歌山県、紀の川市
計画区域	紀の川市の区域の一部(旧那賀町南部地区)
計画期間	平成17年度から平成20年度
支援措置	地域再生基盤強化交付金(道整備交付金)
認定日等	平成17年6月17日認定
計画趣旨	和歌山県紀の川市は、和泉山脈を隔てて大消費地である大阪府と接するなど、都市圏と隣接する立地にある。この立地を活かして、市では丘陵地帯での果樹栽培を主体とする産業振興を盛り込んだ総合計画を策定してまちづくりを推進してきた。しかし、市道や広域農道の一部が未整備のため那賀地区中心部と那賀地区南部のアクセスが悪く、この点が農産物の流通や農作業の効率化、住民の生活環境の改善に向けた課題であった。このため、那賀地区北部で整備が進められている京奈和自動車道を視野に入れ、地区の中心部と南部を接続する道路網を整備し、産業の活性化を中心とする地域再生を目指す。

2. 目標の達成状況

大目標: 地域産業の活性化と周辺地域への利便性の向上

	目標	指標	H17従前値	H22実績値	評価
目標1	農産物の輸送の合理化及び農作業の省力化	通作交通が改善された樹園地面積の10ha拡大	-	12.04ha	○
目標2	那賀地区中心部との連絡強化による農村地域の社会生活環境の改善	農村集落での暮らしやすさの満足度の10%向上 ※	13.0	10.1	×

※ アンケート質問『麻生津地区での総合的な暮らしやすさ』について「とても良い」、「良い」と回答した人数を回答数で除した数値

3. 目標を達成するために行った事業(支援措置を活用した事業)

施設の種類	事業主体	事業期間	事業量	事業費	交付金
市道	紀の川市	H17～H19年度	0.250km	150,000千円	75,000千円
広域農道	和歌山県	H17～H20年度	0.803km	525,000千円	262,500千円
合計				675,000千円	337,500千円

4. 目標を達成するために行ったその他事業(支援措置以外の事業)

- まちづくり交付金事業を活用した道路、公園及び舗装や照明等の高質空間施設整備
- 都市公園整備事業により自然との共生を重視した愛宕池公園整備

5. 総合評価及び今後の方向性

東西方向に計画する広域農道整備により、農道周辺受益者からは『農作業に際して道路の利便性が向上した』との意見が聞かれ、農村地域内の環境改善は見られるものの、広域農道が位置する南部地区と北部の那賀地区中心部を連絡する南北方向の道路整備が進んでいないため、日常生活にかかる満足度は依然低い。

今後、地区全体の満足度を向上させるためには、本計画外の道路においても積極的に整備を進めることが課題である。